



SMILE

笑顔あふれる東山中

目黒区立東山中学校

校長 西田 友幸

〒153-0043 東京都目黒区東山1-24-31 TEL 03(3711)8794

FAX 03(3711)8896 <http://www.meguro.ed.jp/meghyjhs/>

★教育目標★

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 心身を鍛え 実践する生徒 | = つよく = |
| | Be Strong |
| 2 自ら進んで 学びとる生徒 | = かしこく = |
| | Be Smart |
| 3 豊かな心もち 協力する生徒 | = あたたく = |
| | Be Kind |

『俺の敵は、だいたい俺です』

校長 西田 友幸

東山中の図書室では、10月から漫画の貸し出しができるようになりました。前期の間に図書委員会で話し合い、ルールを決めて新しい活動を始めたのです。一歩踏み出していますね。

GoodJob 図書委員!

漫画ということでちょっと調べてみたら、マンガ大賞という賞がありました。この大賞作品のタイトルに「宇宙」というワードが2年連続で入っていました。

2025大賞『ありす、宇宙までも』売野機子

2024大賞『君と宇宙を歩くために』泥ノ田犬彦

そういえばちょっと前になりますが、宇宙の名がついた漫画で

『宇宙兄弟』という作品が話題になったことがありました。

小山宙哉さんの作品で2007年12月に講談社から連載され、

2012年にはテレビアニメや映画でも配信されました。

この漫画は、普通の家庭で育った二人の兄弟が小さいときの夢である将来は宇宙飛行士になるために二人で努力していく姿を描いた作品です。

弟の日々人(ヒビト)は、子どもの頃からの夢をあきらめず、努力の末、日本人最年少で宇宙飛行士になります。兄の六太(ムッタ)は、宇宙飛行士は現実的ではないと一旦はサラリーマンとなりますが、夢をあきらめきれず、改めて宇宙飛行士の試験に挑戦するという話で始まります。この宇宙兄弟の漫画の中に登場する名言を東山中生に送ります。



「私たちの道徳」中学校 文部科学省
P.18「内なる敵」より ©小山宙哉

『悩むなら ってから悩みなさい』：宇宙飛行士になる試験の過程で、他の受験生と比べて悩む主人公の六太に、天体観測所に勤務していたシャロンさんが言った台詞です。私たちはつい新しいことややったことがないことを目の前にすると、やる前や実際に起きる前に失敗を恐れて、挑戦しないことが多くあります。しかし、やってみたら意外と簡単だったということもあるものです。

『世の中には“絶対”はないかもな でもダイジョウブ 俺ん中にはあるから』：自分には絶対にあるという弟日々人の台詞です。インタビューを受けた子どもの頃に日々人は「絶対に宇宙に行きます。」と断言しています。そして、当時の六太は「世の中には“絶対”なんてないんじゃないかなあ」と諭したつもりが、逆にこの一言で返されてしまいました。

『本気でやった場合に限るよ、本気の失敗には・・・価値がある』：六太がNASAの訓練プログラムを受けたときに、限られた予算で最高の素材を使って1機作るのではなく、失敗を前提に2機作るべきを主張したときの台詞です。失敗してもいいからと軽い気持ちで挑戦しようと言いますが、そうではなく絶対に成功するつもりでやらないとその失敗も価値はないという意味です。

(裏に続く)

『俺の敵は、だいたい俺です』：六太は、自分には運がない、周りの人は自分を理解してくれないなど夢が果たせないことを周りのせいにしていました。そんな六太が自分の夢を散々邪魔して足を引っ張り続けていたのは、結局自分自身であったことを振り返っていった台詞です。

3年生は年が明けたらよいよ入試が始まります。本気で挑戦してもすべてがうまくいくとは限りません。でも本気で受験勉強に取り組んだことには”絶対”価値があります。自分で決めたことに挑戦するからには絶対合格するという自信をもって、自分自身と戦って戦ってやりきってください。

『俺の敵は、だいたい俺です』がんばれ！東山中生！

～「めぐろ子ども会議」を行いました～



体育館と教室をオンラインでつなぎ
各校の取組を確認しました



中学生がリーダーシップを発揮し、
いじめをなくすためにできることを
話し合いました



生徒会・学級委員が中心となり、
各グループから出た意見をまとめて
スローガンをまとめました

11月19日（水）に小中連携の日として、東山小学校・烏森小学校6年生と東山中学校の2年生が集い、「めぐろ子ども会議」を行いました。会議では「いじめをなくすためにできること」について一緒に話し合いました。話し合い後は、各校の代表者が集まり、各グループから出た意見や考えをもとに、スローガンを作りました。今年度のスローガンは「思いやろうあなたとわたし ～認め合おう自分らしさ～」となりました。このスローガンを地域全体で意識して、一人一人がいじめをなくすために行動していきましょう。

～児童生徒表彰の制度変更について～

今年度から、表彰対象・基準が変更になるほか、窓口が学校ではなくなり、表彰候補者の方は、直接、区教育委員会事務局に応募をしていただく必要があります。

詳しくは、11月13日付けの保護者連絡システムをご確認いただくか、区公式ウェブサイトをご確認ください。

＜応募〆切＞

令和7年12月15日（月）まで

＜問合せ＞

目黒区教育委員会事務局

教育政策課 教育総務係

TEL: 03-5722-9300（直通）

MAIL: kyoiku01@city.meguro.tokyo.jp

対象 | 区内在住のすべての小・中学生（学校の種別を問わず）

賞状

令和7年度 目黒区教育委員会
児童生徒表彰

候補者を募集します！

学問 スポーツ 芸術
の分野で優秀な成績を収めた
小・中学生の皆さんを表彰します

募集
締切 **12月15日** 月

＜保護者のみなさまへお願い＞

11月10日（月）にホーム&スクールでお知らせしました『学校評価アンケート』の回答期限が12月3日（水）となっております。未回答の方は、QRコードよりご回答ください。よろしくお願いいたします。

